

忘れられない場面がある。



西島秀俊 若村麻由美 麻生祐未 麻生久美子 ジョニー吉長  
生瀬勝久 小日向文世・小橋賢児 野波麻帆 坂田聡(ジョー・ビショップ)・竹中直人(特別出演)・笹野高史 大杉漣  
水川あさみ 宮崎景子 星野有香 柳ユウレイ 渡辺一志 小林隆 諏訪太郎 山本亘 坂本長利 根岸季衣

プロデューサー・原案:一瀬隆重 脚本:中村義洋 鈴木謙一  
エグゼクティブ・プロデューサー:SUNGKYU CHO プロデューサー:MATHEW JACOBS  
撮影:前田米造 照明:島越正夫 美術:斎藤岩男 音楽:ゲイリー・ワレン 編集:高橋信之 助監督:安達正軌 ライン・プロデューサー:金子哲男

監督:中田秀夫

製作:DIGITAL NEGA 製作協力:JAGO ENTERTAINMENT 製作プロダクション:オズ  
提供:オズ+秀作工房+なみおかシネマテーク 配給:オズ+オムロ

Copyright 2001 Digital NeGA Company, Ltd. All rights reserved.

# LAST SCENE

A FILM BY HIDEO NAKATA

ラストシーン

人生という一幕は、名画以上の物語を紡ぎだす。





# LAST SCENE

A FILM BY HIDEO NAKATA

いい映画をみせていただきました。中田監督の映画への熱い思いが伝わってくる、なんともいえない甘酸っぱい余韻が、いいですね。映画の舞台裏はある意味で制作恥部でもあります。それをおしげもなくみせてしまう監督は、大物ですね。失うものはない、とまで私に思わせてしまう。だから静かな描写の中にエンターテインメント要素が存在しているのでしょう。“ラストシーン”には、監督魂がのりうつっているんですね。主人公の「映画を、やめません」という台詞は監督のみならず、私の台詞でもあります。映画をつくる人も、みる人も、映画を愛する人たちに贈る秀逸な作品でした。日本版“ニュー・シネマ・パラダイス”だわ。そう言ったら監督に叱られるかもしれないけど…。黒木瞳(女優)

ここ10年でいちばん泣きました。これからの生き方を決めてくれた私のバイブルとなるベスト・ワンの映画。津島令子(女優)

本領発揮の劇中劇に肝を潰し、やがて諷いあげられる撮影所への熱き想いに涙！加えて女優の顔、男優の佇まいの妙！久保玲子(映画ライター)

1時間40分？ 嘘っ!? ふたつの時代と映画に関わるたくさんの人生がこんなに豊かに取められているの？ 木俣冬(ライター)

ジョニー吉長さんが最後までセリフを言えるかハラハラ。それを見守る映画職人の眼差しにゾーン。もう3回も観てしまいました。田中瑞穂(「マンスリーエム」編集者・映画担当)

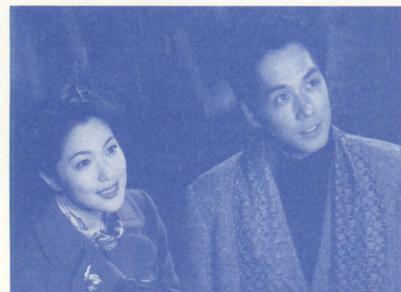
## 『ラストシーン』によせて

佐藤忠男(映画評論家)

かつて映画の撮影所はファンからは聖域のようにあおぎ見られ、そこで働くということは日々が夢のなかであるような特別なことであると思われていたものであった。この映画に描かれた人々は若き日にそんな夢のさなかにあり、いまその日々をしっかりと誇りとして生きて、それを輝かしい伝統として次の世代に手渡したいと願っている。とはいえ主人公の元スターは、そんな黄金時代をおごりと虚飾のときとしてしかふり返ることができ

ないのだが、夢の共同体を支えてきた誇り高きスタッフの面々は、その誇りにかけて、彼の悔恨も心やさしい夢に変えてしまう。

かつて撮影所は夢の工場と言われた。いったん残酷に打ち砕かれたその夢が、スタジオの靈気に導かれるようにして甦える。これは映画についての映画であり、カブドオ屋の心意気を心ゆくまで諷いあげたエンタテインメントの秀作である。



## 「一瞬のまばゆさ」のために

蓮實重彦(映画評論家)

「黄金時代」の日本映画など知るよしもない現代の若い女性スタッフの一人が、さびれた撮影所での不条理というほかはない日々の酷使にたえながら、いきなり、ありえないはずの映画の輝きに目覚め、そのまばゆさを素肌で受けとめてしまう。わけもわからぬまま口にした自分の一言が奇蹟のように招きよせる映画の輝きに脅えつつ、戸惑い気味にそれを肯定し

ようとする麻生久美子の無言の表情が不気味なまでに美しい。それは、近年の日本映画でも突出した瞬間をかたちづくる(撮影の前田米造もそれをよく心得ている)。麻生久美子の寡黙であることの雄弁にカメラを向ける中田秀夫は、その一瞬において、『ラストシーン』を、ノスタルジーから未来に向けて解き放つことに成功する。

## 人生最後の日に起こった小さな奇跡。

1960年代、日本映画が全盛の頃に、スターとして活躍していた三原健。コンビを組んでいたスター女優・吉野恵子の引退や、妻の死により、酒に溺れ、仕事を失い、人々からも忘れ去られてしまう。そんな彼が、現代の映画撮影所に再びやってくる端役を演じる名もない老人として。そこに、小さな奇跡が起こっていく……。

## ハリウッドから注目！『リング』の中田秀夫監督最新作

監督は中田秀夫。『リング』がスティーブンスピルバーク率いるドリームワークスによってリメイクされ、全美1位の大ヒットを記録！『女優霊』『カオス』『仄暗い水の底から』もハリウッドでリメイク進行中という快挙に加え、ハリウッドのメジャースタジオ各社から監督としてのオファーも殺到し、最も注目される監督である。

製作 ■DIGITAL NEGA 製作協力 ■JAGO ENTERTAINMENT 製作プロダクション ■オズ  
提供 ■オズ+秀作工房+なみおカシネマテーク 配給 ■オズ+オムロ <http://www.omuro.co.jp/lastscene/> 2002年/日本/カラー・VHS/スタサイズ/DTSステレオ/1時間40分



### 2003年1月18日(土)よりロードショー!

### 特別鑑賞券 ¥1,500(税込) 絶賛発売中! [当日一般 ¥1,800の処]

### ■劇場窓口でお買い求めの方にポストカード(先着限定)プレゼント!!

梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F  
シネ・リーブル梅田  
CINE LIBRE UMEIDA  
06(6440)5930  
www.nikkatsu.com

空中庭園 梅田スカイビル  
シネ・リーブル梅田  
JR大塚駅  
JR大塚駅  
各回入替制